

吹雷 雪一風。

不滿 掌を内側にした手の上にさした人差指の指頭を口につけ頬をふくらませて小首を傾しげる。「納得いかない」こと。

不明誓 「恥かしい」と同じ手まね。

冬 「秋」の身振りを強調して表わす。即ち拳を強く握りしめ肘を腹脇につけた腕と全身の身ぶるいを強く。

不用 必要——ない。

舞踊 (イ)両手を腰にあて、上体をリズムカ  
ルに左右に動かし踊る身振。(ロ)両手を交互に  
上げ下げして踊る身振。

無頼漢 掌を上向けて握り拳にした手の手  
首のところを鼻の下につけ突き上げるように  
して両手で尻をまくる真似をして男性を表わ  
す。

不利益 「損」と同じ手まね。(ロ)儲け——  
ない。

不良 悪るさ——墮落。

風呂 (イ)「湯」「温泉」と同じ手まね。(ロ)  
タオルを握った拳の形で、頬をこすり洗う身  
振。

不和 「仲違い」と同じ手まね。

憤慨 「憤る」と同じ手まね。

文化(文明) 智識——一般(掌を下に向  
けた右手を左胸脇から前方へ弧を描いて右  
へ)智識が一般に行きわたること。

文学 掌を上向けた両手を十字に重ね互の  
指の交叉したので原稿用紙を形どり、右手で  
文字を書く身振。

紛失 五指の指頭を集め合わせ下に向けた  
右手を右腰につけ、その手を下へ落すと同時  
に五指を開く。腰につけていたものを落す身  
振。

分数 掌を下に向け指頭を右にさした左手  
の人差指を分数の「一」線としてその下に右

手で数を表わし（分母）次にその上に数を表わす（分子）

**分配** 上向けた左手の掌の上に五指の指頭を前方にさし掌を左側にした右手を降して物を二つに分けるように切る身振をしてから、その右手も掌を上に向けて両手を前方にさし出す。「別けて与える」である。

**分類** 両手の指頭を上にした人差指を指頭で人形につけ合わせて左右に離して両指で夫々下に小さい弧を描く。即ち括弧へを描くわけである。

へ

**閉会** 会合——閉じる。

**平気** 掌を下に向け五指の指頭を自分の方に向けた右手を右から左へ顔の上をすれすれに、掃くようにさつと通過させる。

**平均** 「平等」と同じ手まね。

**塀** 「家」の手まねをして左手をそのままに残し、その周囲を、掌を内側にして五指の指頭を左にした右手を左から右へぐるりと囲むような運動させる。

**平静** 一般——静か。

**兵士** 「軍人」と同じ手まね。

**閉店** 店——閉じる手まね。

**平和** 仲よく——一般——静か。

**平凡** 普通——つまらない。

**下手** 「上手」の反対の手の運動。即ち五指の指頭を前方に掌を下に向けた左手の手首の上辺りに掌を下に向け五指の指頭を左にした右手を叩たきつけて上へすり上げる。

**へちま** (1) 掌を上に向け五指の指頭を前方にさした手を口許に持って行き、その掌の上を一吹き息を吹きつける。「そんなことは、ぼんでもない、一吹きでとんでしまう」と云